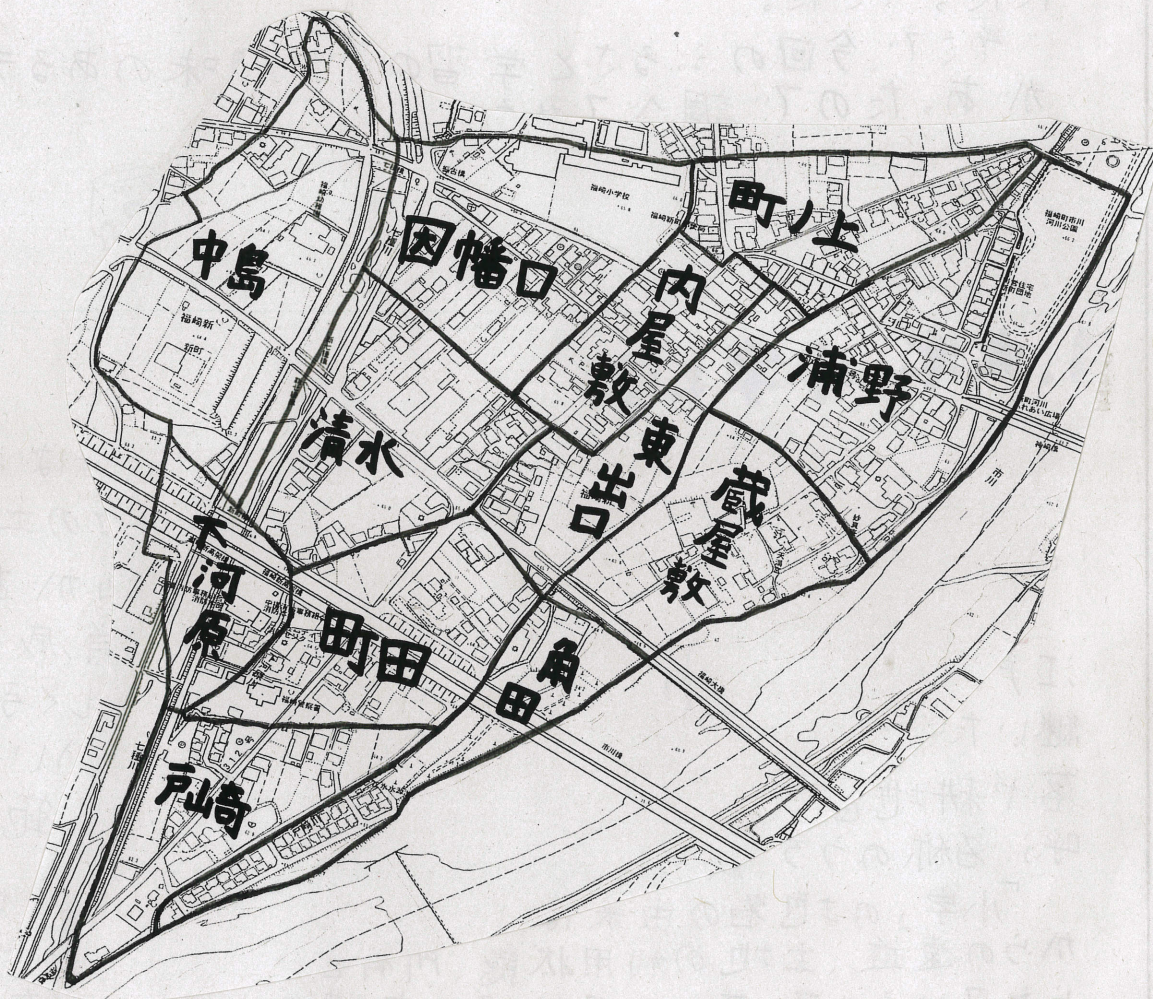


研究テーマ

こあざ
新田の小字について



2年 1組 13番

氏名 山本柊羽

はじめに

福崎町には、自治会の名前と住所の地名が同じところと違うところがある。

例えば、僕の住んでいる新町は、住所では「福崎新」と書き、板坂や桜は「高岡」と書く。「高橋や山崎」と書くので、前からなぜこんなに違いがあるのかと思っていた。

父に聞いてみると、「大字(おおあさ)」という聞いたこともない言葉が出てきたりして、ますます不思議に思ってきた。

そこで、今回のふるさと学習の中で興味のあるテーマがあったので調べてみることにした。

たしかに...前から気になど、たんや〜。



1. 大字・小字とは

それぞれの市町村には「大字(おおあさ)」と呼ばれる地域名があり、その大字の中には、昔からのその土地の名称である「小字(こあさ)」と呼ばれる区画がある。

「大字」とは、明治期の市町村合併によって消滅した江戸期からの村々の名称や区画をそのまま新しく引き継いだもので、「小字」とは、その村々の中の細かい集落や耕地を呼ぶ地名で、その地域のある一定の範囲を呼ぶ名称のうち、最も小さい区画である。

「小字」の地名の由来は、その土地の地形、土質、集落からの遠近、土地の利用状態、所有者などによって名付けられているので、昔の住民がその土地のどのような有様に注意し、またどのように土地利用を行ってきたか、土地と人との関わり方を知る上でおおいに役立つものである。

今回、自分が生まれ育った新町区の小字について調べてみた。

2. 調査の手順

どのように調査をすればよいか、家族のアドバイスをもらい、色々な人に聞いたり、図書館にある本で調べた。

○聞き取りした人 … 新町区 志水区長
役場 社会教育課 福永さん

○地図をいたった人
… 役場 まちづくり課の方

まず、新町のことならなんでも知っている区長さんをたずねた。小字の名前は色々教えていたたいたが、その由来まではわからないとのことだったので、役場に行って歴史に詳しい人をたずねた。

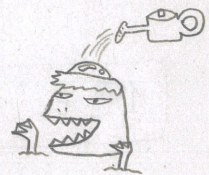
社会教育課の福永さんに「福崎町史」を見せてもらった。しかし、この中には新町の小字のことは少ししか書かれていなかった。

図書館に「かたりべ」という、昔の人が福崎町のことについて色々調べた本があると教えていたたいたので、次の日に図書館で調べることにした。

福崎町史の中に、小字の地図がはさんであり、自分が住んでいる場所はなんている小字なのかも知ることもできた。自分でもこの地図を作ろうと思ったので、役場のまちづくり課で福崎町の地図をいたたき、書き写すことにした。

聞き取りをした志水区長さん、福永さん、
地図をいたたいた役場 まちづくり課
の方々、本当にありがとうございました!

本当に小字は興味深いわ〜。
にしても、昔の人には感謝したいなあ〜。



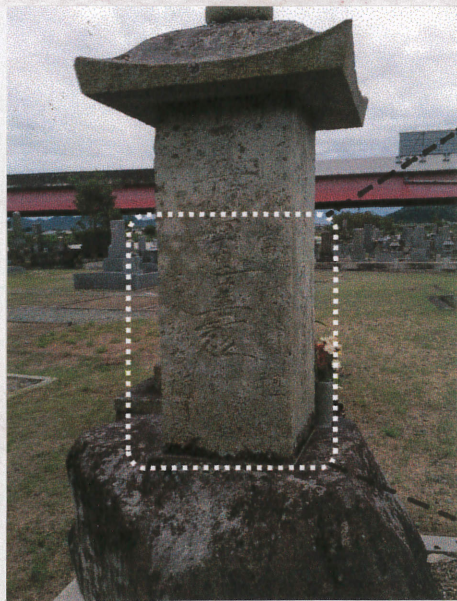
3. 調査結果

■ 新町の開拓

新町は、市川と七種川にはさまれた場所であり、市川沿いは松林、その西側一体は荒地だった。

元和9年(1623年)、三木城主の別所長治の家臣・志水孫右衛門則治が浪人となってこの地に来住し、荒れた土地の開発に力を注いだ。

今も新町の墓地には、志水孫右衛門則治をまつる石碑が残されている。(参考文献…「かたりへ」第十七集)



拡大

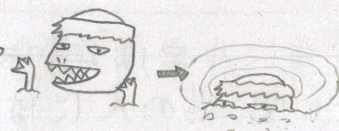


富
村
開
組

こういったことも由来になった小字の名前が発見できた。

そして、新町に「志水」という名字が多いのもなんとなくわかった。

俺も... 名字がほしいなあ.....



■ 新町の小字とその由来

町の上

新町の北の端にあり、比較的高い場所であつたので、多くの人が集まる場所であつた。

因幡口(いなばぐち)

因幡とは昔話の「稲葉の白兔」で有名な鳥取県の昔の国名。この場所から山崎街道に出、北行すれば、因幡に行けるので、この名が付いたと思われる。

清水

七種川の東岸にあり、七種川の水が湧き出していた。

「清水」という小字は、新町だけでなく、福山町内にも6ヶ所ある。そのほとんどが川の近くにある。

七種川



内屋敷

村を開墾するための共同の屋敷があつた。(村の中心地)

東出口

内屋敷から見て因幡口が西の出口であるのに対し、東側の出口である。

浦野

表面から見えない場所という意味。

蔵屋敷

内屋敷と同じく、共同の収納庫があつた場所。年貢(ねんぐ)米などを市川の水運で運び出す場所であつた。

角田(つのた)

細長い形が角のようだから。



角田
← 今はたけさんの住宅が建ち並んでいる。

戸崎

新町の最南部。外に突き出た形をしているから。

町田

町=田んぼの区画を指すもので、市街地を計画するにあたり、方形区画を整備して人家を割り当てたことから、この名前がついたものと思われる。



今の町田

下河原

七種川下流の河原だった場所。

中島

七種川が直角に近い形で曲がって流れているので、流れの穏やかな内側に土砂がたまって島となった場所。

新町の中に、これだけの小字があったのか!



おわりに〈感想・感じたこと〉

地図で見ると、僕の住んでいる家は「町田」という小字にあることになる。

今回、こういった調査をしたことにより、昔の人たちの暮らしや地理がどのようなものだったのか、ますます興味が沸きました。

小字の名前の由来を聞いて、今でもその様子がわかる場所もあり、由来を聞いてもいまいちよくわからない場所もある。

小字とはあまり関係ないが、新町に「志水」という名字が多い理由もなんとなくわかり、もっと調べる時間があれば、他にも「山本」や「森」が多い理由なども調べたいと思った。

自分の住んでいる地域の歴史を調べることは、地域に愛着を持つ良いきっかけになったと思った。

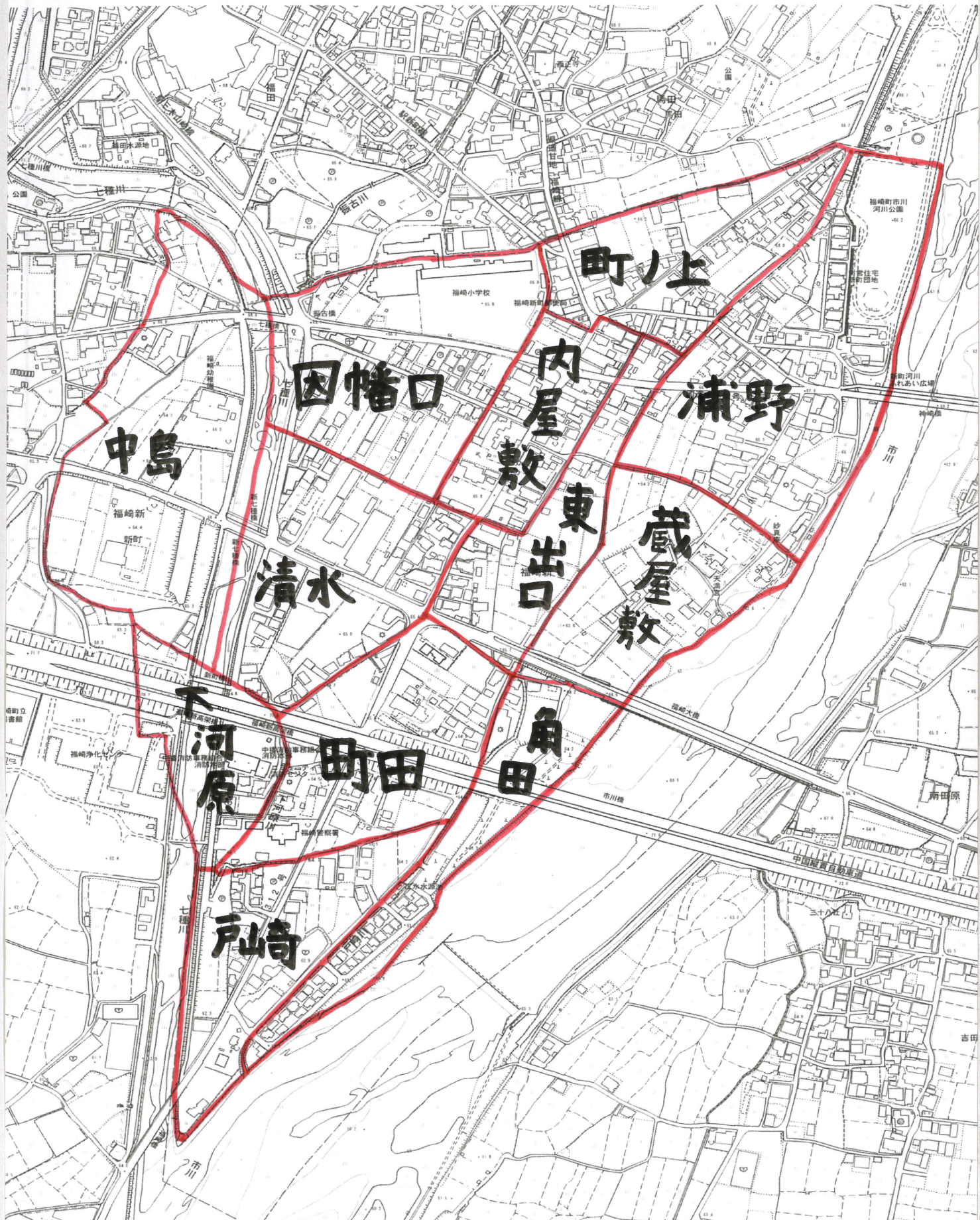
〈参考文献〉

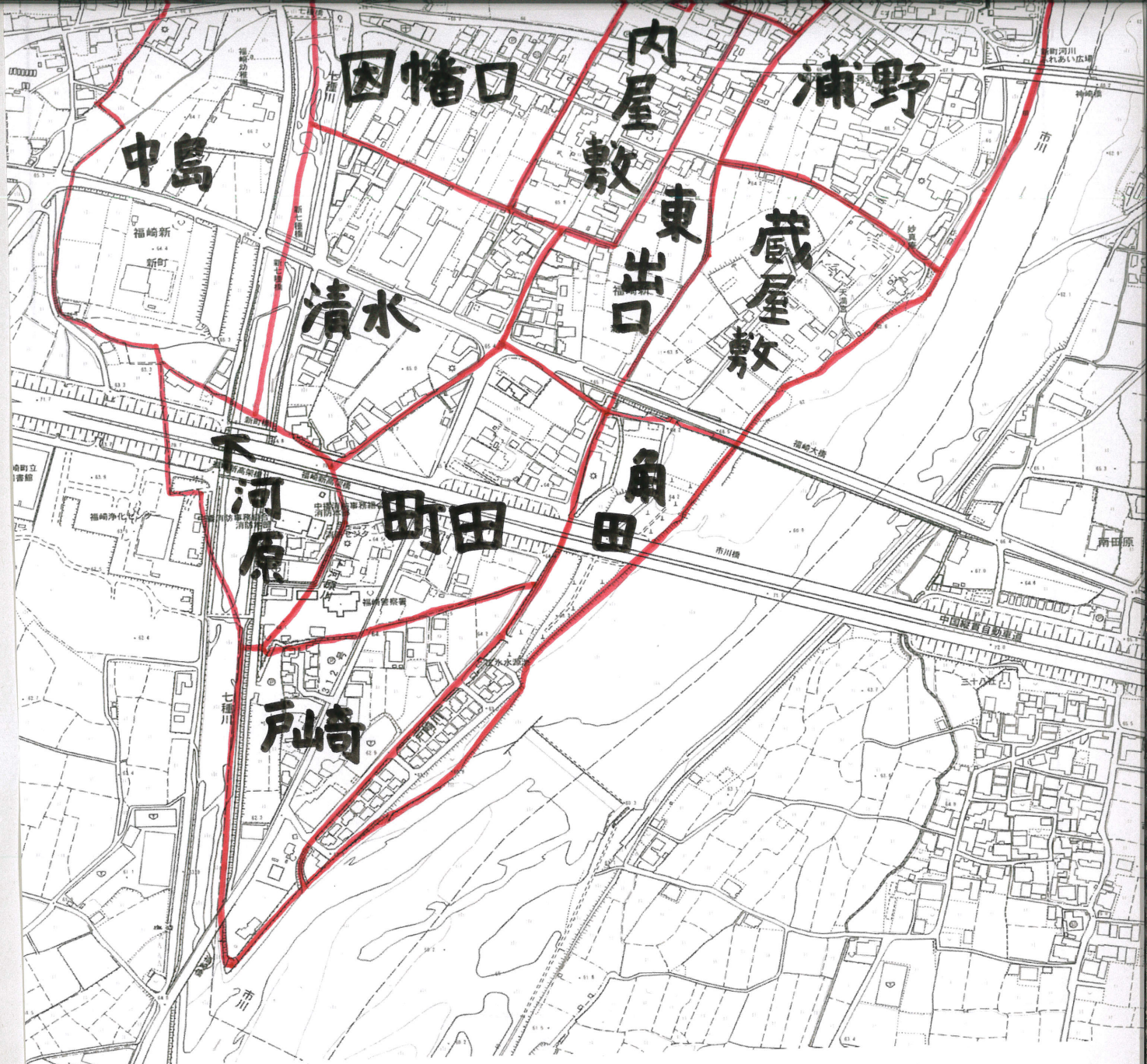
- ・福山奇町史 第一巻
- ・かたりべ 第十七集

I am Kappa.
Good by !!



新町小字図





第2回 福崎町柳田國男ふるさと賞出品票

学校名	福崎西中学校	学年	2
ふりがな 氏名	ヤマモト 柊羽	番号	5
題名	新町の小字について		
内容	<p>新町の小字について、区長さんや役場の方の協力を得て、詳しく調べました。</p> <p>また、現地調査をして、小字の由来などを考察してみました。</p>		